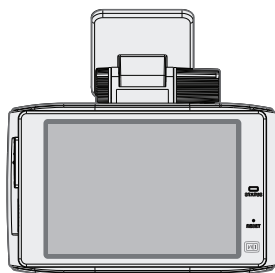
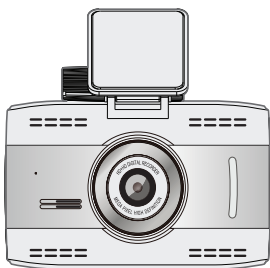


2 カメラドライブレコーダー

取扱説明書

Ver1.00

MDR-MO2



ご使用前に

※ microSDカード内の専用ビューアーと取扱説明書をパソコンなどに保存してカード内から消去してからご使用ください。または本体でフォーマットしてからご使用ください。

注意:はじめにmicroSDカードを本体でフォーマットすると専用ビューアーソフトと取扱説明書が消去されてしまいます。専用ビューアーソフトと取扱説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。 bigpower.jp

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

目次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
ADAS 機能についての注意事項	6
microSD カードご使用に関する注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
内容物の確認	9
取り付け上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
ノイズフィルター（フェライトコア）の取り付け方	13
※録画の種類	14
microSD カード内ファイル構成	15
ドライブレコーダーを使う	17
メニューモード	18
※録画衝撃感度 [衝撃時センサーの感度設定]	19
※駐車録画設定 [駐車録画時間・放電遮断電圧・駐車モード設定]	20
画面設定 [本体液晶画面の設定・セキュリティ LED 設定]	21
音声設定 [音声録音・スピーカー音量]	22
ADAS 設定 (安全運転支援機能)	24
ADAS 設定 [キャリブレーション設定]	25
システム [タッチ補正]	26
システム [フォーマット & 初期化・日時・システム設定]	27
再生モード	28
手動録画 / システムをアップデートする	29
録画時間の目安	30
製品仕様	31

【付属】ビューアー説明書

※本機は駐車録画に対応していません。

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- ADAS 機能 [前方車発進警報] ・ [前方車衝突警報] ・ [車線逸脱警報] は、画像により簡易的に行い、楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転を完全にアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

製品及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



付属のシガージャックケーブルが、シガーライターソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中に microSD カードを取り出すと記録データと microSD カードが破損する可能性があるため注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

ADAS 機能についての注意事項

ADAS(安全運転支援)機能について

- はじめてご使用する前に、[ADAS 設定] - [キャリブレーション]メニューを設定してください。
- ダッシュボードの上に置かれたものが前面窓ガラスに反射される場合、正常に動作しない場合があります。
- ADAS 機能の使用製品が角度がずれてしまった場合、[ADAS 設定] - [キャリブレーション]メニューを再設定してください。
- 前方車衝突警報は、画像処理により前車を検知します。紛らわしいシルエットを誤認識して警報を発する場合があるほか、前車の形状や環境要因が原因で正しく検知できない場合があります。必ず実際の走行中の状況に合わせて運転をしてください。
- 前方車発進警報は、画像認識により、前車のブレーキランプの点灯・消灯を検出して警報を発します。前車のブレーキランプが故障等で点灯しない場合は機能しません。また、仕様上、前車が発進せずにブレーキランプを消灯させた場合にも警報を発します。カメラのレンズが水平ラインに合っていない場合は、安全運転支援機能が正しく機能しません。
- 車線逸脱警報は、車線表示と道路の端を検出できない場合があります。
(車線が複数重なっていたり、複雑な区間の場合検出できないことがあります)
ウインカーと連動していないため、仕様上、車線変更時にも車線逸脱警報の警報が鳴ります。また、車線変更時中は前車を検知しないため、衝突のリスクがある場合でも前方衝突警報は警報を発しません。

※本製品の安全運転支援機能は、あくまでドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を警報するものではありません。

※運転者は走行中に本製品のモニターを注視するなど、前方不注意を行わないでください。

この機能の判断精度は以下の場合に影響を受けますので、あくまで補助的な機能としてご使用ください。

- 空が暗くて灯りが不足しているとき
- 大きなカーブがあるような山道を運転しているとき
- 複雑な車線で構成されているような道を運転しているとき
- 前方車によって、水が飛び散る、雪やホコリが舞い上がったとき
- 嵐を通過中、または霧やホコリの多い場所
- 太陽に向かって運転しているとき
- 日没時、薄明かりが空に残っている場合
- ビルやガードレールの影でマークした線が隠れた場合
- トンネルに入ったときなど、明るさの一時的な変化
- 外部環境の光が著しく変化した場合
- 反射板などからの強い光を受けたとき

microSD カードご使用に関する注意事項

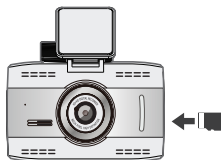
もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジンを（電源を）オフにして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し LED ランプが消灯してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。

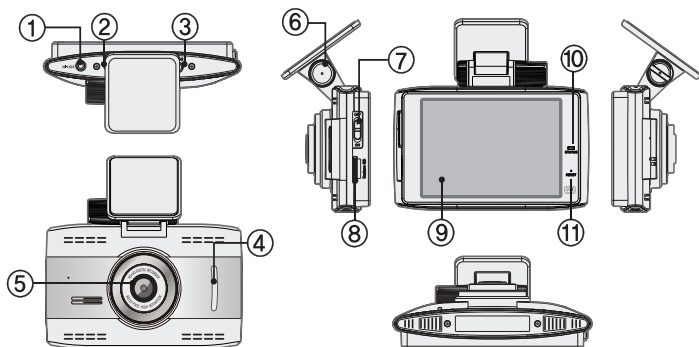


- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットすることをお勧めします。（26 ページ参照）
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード（推奨品）への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき

本体カメラ

※カメラの各端子には付属の専用のケーブル以外接続しないでください。
GPSとサブカメラの端子は、間違えやすいのでご注意ください。



① サブカメラ接続端子 (2CH-IN)

サブカメラを接続

② GPS 接続端子 (GPS)

GPS アンテナを接続

③ 電源接続端子 (DC-IN)

電源ケーブルを接続

④ セキュリティ LED
(設定モードで オン / オフ設定可能)

電源オン時、青点滅
電源オフ・セキュリティ LED オフ時、消灯

⑤ カメラ

本体のカメラ部

⑥ ブラケット固定ねじ

本体の角度を調整

⑦ 電源スイッチ

製品の電源オン / オフ

⑧ microSD カードスロット

microSD カード挿入口

⑨ タッチパネル液晶

録画映像や設定を表示

⑩ 状態表示 LED

電源オン時 (常時録画中)、赤点灯
衝撃、手動時、赤点滅
電源オフ時、消灯

⑪ リセットボタン

先の細い棒などで押すとシステムを再起動

内容物の確認

セット内容

- 本体カメラ (ブラケット付)



- 電源ケーブル (シガータイプ)
駐車監視不可



- サブカメラ



- サブカメラ
接続ケーブル



- GPS モジュール



- ケーブルクリップ × 5 個



- microSD カード (16GB)
& カードアダプター



(フェライトコア)



(フェライトコア固定用結束バンド)

※ノイズ軽減のためにフェライトコアと結束バンドを使用する場合は【フェライトコア取り付け】を参照してください。

- ノイズフィルターセット × 2 個

- かんたんマニュアル



- 保証書



ご使用前に 専用ビューアソフトと取扱説明書はmicroSDカード内に保存されています。

※ microSDカード内の専用ビューアソフトと取扱説明書をパソコンなどに保存してからカード内から消去してからご使用ください。または本体でフォーマットしてからご使用ください。

注意: はじめにmicroSDカードを本体でフォーマットすると専用ビューアソフトと取扱説明書が消去されてしまいます。専用ビューアソフトと取扱説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。 bigpower.jp

取り付け上の注意事項

本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
 - 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
 - 付属の両面テープは粘着力が強いため、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
 - 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
 - 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
 - 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置**

 - 取り付け位置は車両フロントガラス上部20%以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
 - 付属のmicroSDカードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
 - 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
 - フロントガラスの着色部分(セラミックラインなど)が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
 - 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
 - ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
 - 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
 - スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。

ドライブレコーダーを取り付ける

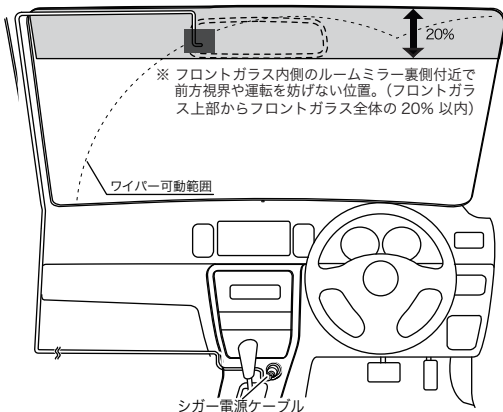
- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。
※道路運送車両の保安基準 第 29 条 (窓ガラス)、細目告示第 39 条、第 117 条および第 195 条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

本体カメラ設置



自動車の機能 (エアバッグ等) の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。事故や怪我の原因となります。

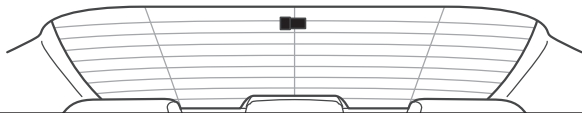
電源ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。



※ガラス面を脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。

サブカメラ設置 サブカメラを本体カメラと接続してください。

リアガラスの内側中央の最上部付近にカメラを後方に向けて設置してください。
カメラレンズを車外に向ける

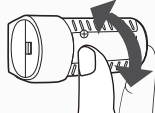


両面テープ



両面テープがカメラ側に来るようにブラケットを回してレンズが車外に向くようにガラス面に貼りつけます。
設置終了後、配線の取直しを行なってください。

※少し固い場合があります。



サブカメラの上下の角度は本体ドライブレコーダーの液晶画面で後方車のナンバーが確認できるように調整してください。



取り付け後、カメラの部分の角度を調整してください。

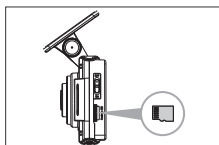
ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

【仮留め・テスト録画】

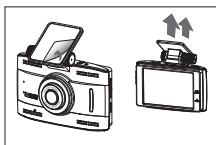
カメラ本体に電源ケーブル、GPS ケーブル、サブカメラ接続ケーブルを配線し、それぞれ両面テープで貼り付け設置します。両面テープは粘着力が強いため、しっかり貼り付ける前に、いったん養生テープなどで仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしてないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。

【取り付け方法】ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。

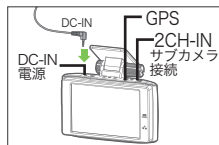
※フロントガラスを脱脂クリーナーなどできれいに清掃した後に取り付けてください。



microSD カードを「カチッ」という音がするまで挿入する



両面テープのハクリ紙をはがしてブラケットを貼りつける



電源ケーブル、GPS、サブカメラ接続ケーブルを配線

【GPS の取り付け】

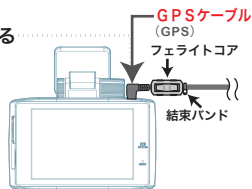
[取り付け位置]・地デジや ETC、他の GPS 等のアンテナから 10 cm 以上離れた位置

- ・自動車の機能(エアバックや運転支援システムなど)の妨げにならない位置
- ・衛星からの電波を受信しやすい位置(フロントガラス付近)

①本体のGPS接続端子に、GPSケーブルを接続する

②GPSはダッシュボードに設置する

GPS裏面の両面テープでダッシュボードに貼り付けしっかり設置します。



フェライトコアを取り付けてノイズを軽減

③電源ON後、本体液晶画面でGPS受信状態の確認を行う



- GPS未接続状態
- GPS未受信状態
- GPS受信状態

! 自動車の機能(エアバック等)の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。事故や怪我の原因となります。ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

ノイズフィルター（フェライトコア）の取り付け方

ノイズについて

スマートキー電波受信機や地デジ・ラジオなどの各アンテナの近くに設置すると電波干渉が起きる場合があります。なるべく各アンテナや受信機の近くに設置しないでください。また、電波干渉軽減の必要がある方は下記の対策を行ってください。

【対策】ドライブレコーダーの電源ケーブルとGPSケーブルにフェライトコア（ノイズフィルター）を取り付けてノイズを軽減します。

必要な部品を確認する

- フェライトコア × 2個



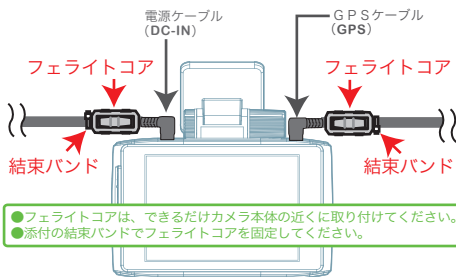
ケーブルを挟んで使用する
ノイズフィルターです。

- 結束バンド × 2本



フェライトコアを固定します。

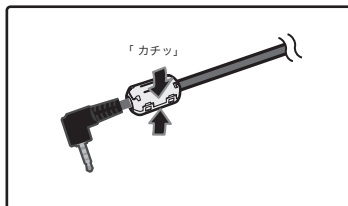
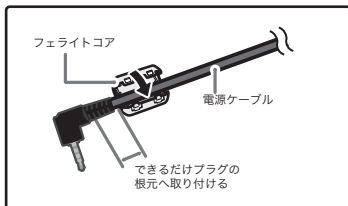
フェライトコア取り付けイメージ図



フェライトコアの取り付け方法

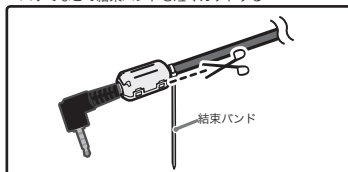
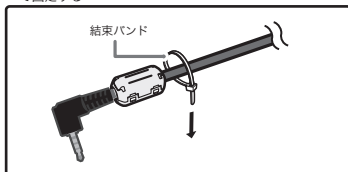
電源ケーブルと同様にGPSケーブルにも取り付けてください。

- ①フェライトコアを開き、電源ケーブルを挟んでから閉める
- ②フェライトコアを「カチッ」と音がするまで閉める



- ③フェライトコアが動かないように結束バンドを取り付けて固定する

- ④フェライトコアを結束バンドで固定した後、ニッパーやハサミなどで結束バンドを短くカットする



一部車種にはルームミラーにリモコン、またはスマートキーの電波受信機が内蔵されている場合があります。リモコン、またはスマートキーによるドアの施錠・解錠に問題が発生した場合には、本機器と配線等をルームミラーからできるだけ離して取り付けを行ってください。

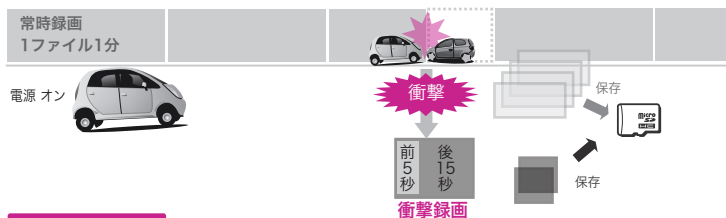
録画の種類

電源オンで常時録画+衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源オンからオフまで常に録画を続けます。microSDカードのNormalフォルダに保存されます。容量がいっぱいになったら古いファイルから上書きされます。

※常時録画の1ファイルの容量は約1分



衝撃(手動)録画

衝撃時（Gセンサーが衝撃を検知したとき）や手動で録画したときは、1ファイル約20秒（前5秒、後15秒）のファイルがEventフォルダに保存されます。

電源オフで常時録画+衝撃録画を終了します。

駐車モード

※本機は駐車録画は行いません。

microSD カード内ファイル構成

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルおよび設定ファイルなどが保存されます。



(例1) E M E R 1 7 0 5 1 7 _ 1 6 1 6 3 4 . a v i
2017年5月17日16時16分34秒にEMER(衝撃[手動]録画した)ファイル

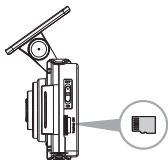
(例2) F I L E 1 7 0 5 1 8 _ 1 6 4 0 4 6 . a v i
2017年5月18日16時40分46秒にFILE(常時録画した)ファイル

microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画(Normalフォルダ)、衝撃録画(Eventフォルダ)、それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。本体起動直後や録画データの記録直後に手動録画や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。手動録画または衝撃による録画データの保存中は、手動録画や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。

ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源がオンになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

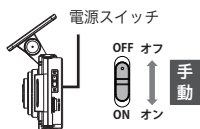
1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



❗ microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。

2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源がオンになります)



エンジンをかけた状態で電源スイッチをオフにすると電源が切れます。再び、電源スイッチをオンにすると電源が入ります。電源スイッチをオフにすると録画されません。

3) 常時録画を開始 (電源スイッチをオンにしておいてください)

①常時録画

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と撮影を開始します。常時録画のデータは Normal フォルダに保存されます。

②衝撃検知による録画 (衝撃録画)

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、前後の記録を衝撃録画として Event フォルダに保存します。

③手動録画

録画中、液晶のメニューの手動録画をタッチすると、タッチした前後の記録を Event フォルダに保存します。

④録画停止

車両のエンジンを切ると自動的に録画が停止します。電源オン時に電源スイッチをオフにしても録画を停止します。再び電源スイッチをオンにすると電源が入って録画を再開します。

⑤バックアップ機能

録画中、重大事故などの外部の衝撃によって電源が遮断されても、約 1 秒間録画を続けます。

4) 駐車録画 ※本機は駐車録画は行いません。

ドライブレコーダーを使う (つづき)

5) 液晶画面 ライブ映像画面：本体起動後、録画中の画面が表示されます。

【ライブ映像画面】



画面をタッチするとメニューモードが表示されます。

Ⓐ 日時

Ⓑ GPS 録音 Ⓒ 音声 Ⓓ カメラ数 Ⓔ 電圧 Ⓕ 録画状態

表示の見方

Ⓐ 日時	現在の日時表示		
Ⓑ GPS	GPS受信状態	GPS未受信状態	GPS未接続状態
Ⓒ 録音	音声録音オン	音声録音オフ	
Ⓓ 音声	音声案内オン	音声案内オフ	
Ⓔ カメラ数	1CH 本体カメラのみ	2CH サブカメラ接続	
Ⓕ 電圧	現在の電源電圧を表示		
Ⓖ 録画状態	REC 常時録画	EVT 衝撃録画・手動録画	SDカード未挿入(録画できません)

ADAS 機能アラーム時の液晶表示



メニューモード [設定モード・再生モード・手動録画]

ライブ映像画面をタッチするとメニューモードが表示されます。

設定モードでは各種設定が可能です。

【メニューモード】



【メニューモード】

設定モード：各種設定（設定内容は下表参照）

再生モード：録画したデータを再生

手動録画：手動録画開始

メニューモードの詳細

					初期値	
メニューモード	設定モード	録画設定	録画衝撃感度	常時衝撃感度	鈍感 / 標準 / 敏感	標準
			※ 駐車録画設定	※ 駐車録画時間	※ 鈍感 / 標準 / 敏感	標準
			※ 放電遮断電圧	※ 1時間 / 4時間 / 12時間 / 24時間	24時間	
			※ 駐車モード設定	※ 11.5(23) / 11.7(23.4) / 11.9(23.8) / 12.1(24.2)	11.9/23.8	
	画面 & 音声	画面設定	画面の明るさ	暗い / 標準 / 明るい	標準	
			映像表示設定	本体(大)サブ(小) / 本体カメラの全体画面 サブ(大)本体(小) / サブカメラの全体画面	本体(大)サブ(小)	
			液晶表示設定	1分後画面オフ / 画面常時オン / 1分後時計画面	画面常時オン	
			セキュリティLED	オフ/点滅 (本体カメラ前面のLEDの点滅設定)	オフ	
		音声設定	音声録音	オン/オフ	オン	
			スピーカー音量	オフ/小さい/標準/大きい	標準	
	ADAS設定	前方車発進警報	オン/オフ	オン		
		前方車衝突警報	オン/オフ	オン		
		車線逸脱警報	オン/オフ	オン		
		キャリブレーション	設定画面			
	システム	タッチ補正		補正画面		
		フォーマット & 初期化	フォーマット	OK/キャンセル		
			初期化	OK/キャンセル		
		日時	日付設定	設定画面		
			時間設定	設定画面		
	システム情報		システム情報表示			
再生モード	常時録画	常時録画再生画面				
	衝撃録画	衝撃録画再生画面 (手動録画も再生)				
	駐車録画	駐車録画再生画面 ※再生できません。				
手動録画	タッチで手動録画開始					

※本機は駐車録画に対応していません。設定を変更しても駐車録画は行いません。

※駐車モード設定を長時間に設定すると常時録画時間が短くなりますのでご注意ください。

設定モード 各種設定変更 ※本機は駐車録画に対応していません。

録画衝撃感度 [衝撃時センサーの感度設定]

画面をタッチしてメニューモードを表示する



① 設定モードをタッチ

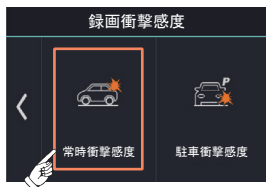


② 録画設定をタッチ



③ 録画衝撃感度をタッチ

録画衝撃感度で、常時衝撃感度、駐車衝撃感度 (※) をタッチして設定します。



常時衝撃感度をタッチ

常時録画時のGセンサー (衝撃検知) の感度を設定

■ 鈍感 / 標準 / 敏感

初期値：標準

※本機は駐車録画に対応していません。

駐車衝撃感度をタッチ

駐車録画時のGセンサー (衝撃検知) の感度を設定

■ 鈍感 / 標準 / 敏感

初期値：標準



設定モード 各種設定変更 ※本機は駐車録画に対応していません。

駐車録画設定 [駐車録画時間・放電遮断電圧・駐車モード設定]

※本機は駐車録画に対応していません。設定変更しないことをお勧めします。

① 駐車録画時間② 放電遮断電圧③ 駐車モード設定のどれを選択しても **駐車録画および放電遮断を行いません。**

③ 駐車モード設定を長時間に設定すると常時録画時間が短くなりますのでご注意ください。

画面をタッチしてメニューモードを表示する



① 設定モードをタッチ

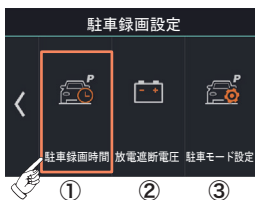


② 録画設定をタッチ



③ 駐車録画設定をタッチ

駐車録画設定で、下記の項目をタッチして設定します。



① 駐車録画時間 ※対応していません

② 放電遮断電圧 ※対応していません

③ 駐車モード設定 ※録画割り当て時間が変更されます

駐車モード設定を長時間に設定すると常時録画時間が短くなりますのでご注意ください。

※① 駐車録画時間
(駐車録画タイマー)
初期値：24 時間

駐車録画時の動作時間を下記の時間から選択できます。

■ 1 時間 / 4 時間 / 12 時間 / 24 時間

※② 放電遮断電圧
初期値：
11.9V(23.8)V

設定した電圧以下になると駐車録画を終了します。

設定値は以下から選択できます。

■ 11.5(23.0) / 11.7(23.4) / 11.9(23.8) / 12.1(24.2)V

() は 24V 車用の設定値です。

※③ 駐車モード設定
初期値：標準

駐車録画設定：使用しない、標準、長時間 の選択が可能です。

■ 使用しない / 標準 / 長時間

駐車モードの設定を変更すると録画時間の割り当てが変更され、microSDカードがフォーマットされます。
※29ページ
録画時間の目安を参照

使用しない：SD割り当て：常時80%、衝撃10%、その他10%

標準：SD割り当て：常時80%、衝撃10%、その他10%

長時間：SD割り当て：常時10%、衝撃15%、その他75%

画面設定 [本体液晶画面の設定・セキュリティ LED 設定]

画面をタッチしてメニューモードを表示する



①設定モードをタッチ



②画面 & 音声をタッチ



③画面設定をタッチ

画面設定で、下記の項目をタッチして設定します。




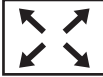


① ② ③ ④

- ① 画面の明るさ
- ② 映像表示設定
- ③ 液晶表示設定
- ④ セキュリティLED



セキュリティLED

点滅を選択すると録画中と駐車モード時に青点滅します。

①画面の明るさ 初期値：標準	明るい / 標準 / 暗い
②映像表示設定 初期値： 本体（大） サブ（小）	本体（大） / 本体カメラ / サブ（大） / サブカメラ サブ（小） / の全体画面 / 本体（小） / の全体画面    
③液晶表示設定 初期値： 画面常時オン	1分後画面オフ / 画面常時オン / 1分後時計画面
④セキュリティLED 初期値：オフ	オフ / 点滅 オフを選択すると常時消灯します。

音声設定 [音声録音・スピーカー音量]

画面をタッチしてメニューモードを表示する



① 設定モードをタッチ

② 画面 & 音声をタッチ

③ 音声設定をタッチ

音声設定で、下記の項目をタッチして設定します。



①

②

① 音声録音 初期値：音声録音オン

■ 音声録音オン / 音声録音オフ

② スピーカー音量 初期値：標準

■ オフ / 小さい / 標準 / 大きい

※オフに設定しても音声案内するものもあります。

音量 オフ

音声案内一覧

可	GPS 受信時	GPS を受信しました。
可	サブカメラ切断時	サブカメラが切断されました。再起動します。
可	サブカメラ接続時	サブカメラが接続されました。再起動します。
可	電源投入後、録画開始時	録画を開始します。
不可	microSD カード未挿入	microSD カードが挿入されていません。
不可	microSD カードエラー時	microSD カードエラーです。
可	衝撃録画、手動録画時	ピコン
可	ADAS(前方車衝突警報)	ピッピッピッピッピ
可	ADAS(車線逸脱警報)	ビービー
可	ADAS(前方車発進警報)	キンコン

ADAS 設定 (安全運転支援機能)

画面をタッチしてメニューモードを表示する



①設定モードをタッチ



②ADAS 設定をタッチ

ADAS (安全運転支援機能) 設定で、下記の項目をタッチして設定します。



①

②

③

④

① 前方車発進警報 (オン / オフ) 初期値 : オン

② 前方車衝突警報 (オン / オフ) 初期値 : オン

③ 車線逸脱警報 (オン / オフ) 初期値 : オン

④ キャリブレーション 本体位置調整の設定画面

※ADAS 機能を使用する場合は必ずキャリブレーションを行なってください。正常に機能しない場合があります。

① 前方車発進警報

この機能をオンにして、GPS の受信完了後、停車時に前方の車が発進した場合、しばらく走行を開始しないとアラーム音でお知らせします。

発進遅れで警告



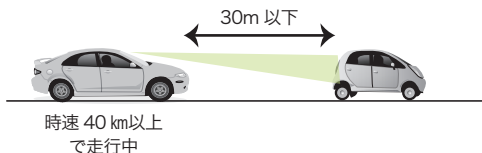
アラームお知らせ時に
本体液晶に表示されます。

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・ 前方車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正常に動作しない場合があります。
- ・ 実際の走行中の状況に合わせて運転してください。
- ・ 前方車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・ 前方車の形状や色により正しく動作しない場合があります。

ADAS 設定 (安全運転支援機能) について

② 前方車衝突警報

この機能をオンにして、GPS の受信完了後、走行速度が 40 km/h 以上で、前方車との距離が 30 m 以下になったとき、アラーム音でお知らせします。



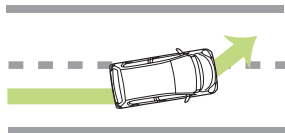
アラームお知らせ時に
本体液晶に表示されます。

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が時速 40 km 以上で走行時のみ動作します。
- ・ 前方車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正常に動作しない場合があります。実際の走行中の状況に合わせて運転してください。
- ・ 前方車以外の周辺物や景色の変化でも接近お知らせを行う場合があります。
- ・ 前方車の形状、色、により正しく動作しない場合があります。

③ 車線逸脱警報

この機能をオンにして、GPS の受信完了後、走行速度が 40 km/h 以上で、車が車線はずれたときや車線を変更したとき、アラーム音でお知らせします。

時速 40 km 以上で走行中



車線を逸脱した
ときに警告



アラームお知らせ時に
本体液晶に表示されます。

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が時速 40 km 以上で走行時のみ動作します。
- ・ 道路の色、車線の色、種類や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正常に動作しない場合があります。実際の走行中の状況に合わせて運転してください。
- ・ 車線以外の周辺物や景色の変化でも車線逸脱お知らせを行う場合があります。
- ・ 車両ウインカーと連動しないため、車線変更時にも車線逸脱お知らせを行います。

ADAS 設定 [キャリブレーション設定]

メニューモード / 設定モード / ADAS 設定 / キャリブレーションを選択

④ キャリブレーション

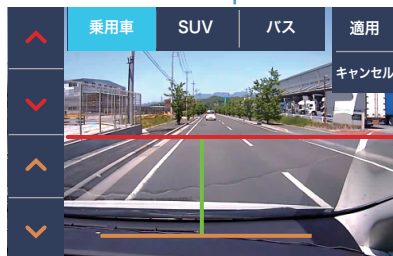
ドライブレコーダーを設置した車に合わせて調整します。

- ・キャリブレーションは他の車両の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。
またなるべく平坦な場所で行なってください。
- ・運転者は走行中に操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。

1. 一覧から車に近い車種を選ぶ



乗用車 / SUV / バスから取り付けた車に近い車種を選択してタッチします。



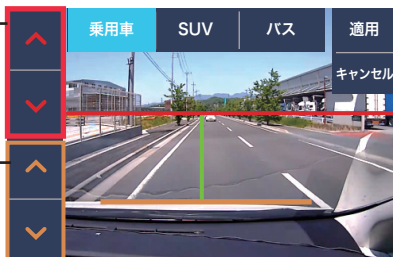
2. 地平線を調整する

▲▼ で赤線を上下して地平線に合わせてます。

3. ボンネットを調整する

▲▼ で橙線を上下してボンネットに合わせてます。

※車種によってボンネットが映っていない場合は、画面の下のほうへ線を下げてください。



4. 適用をタッチ



地平線とボンネットの調整が終了したら適用をタッチします。

システム [タッチ補正]

画面をタッチしてメニューモードを表示する

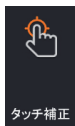


システム設定で、下記の項目をタッチして設定します。



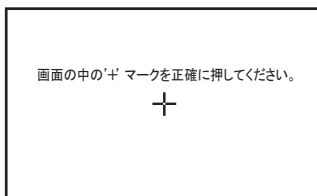
- ① タッチ補正
- ② フォーマット&初期化
- ③ 日時
- ④ システム情報

① ② ③ ④



① タッチ補正

タッチパネルのタッチ位置を補正します。
画面上の目的の位置をタッチした後、適切な選択ができないときに使用します。



1. 「画面の中の '+' マークを正確に押してください。」と表示されたら、画面中央の「+」をタッチします。
2. その後「+」マークが場所を変えて4カ所に表示されるので、順に「+」の交点を正確にタッチします。
3. 「タッチ補正を完了しました。補正されたデータを適用します。」と表示されたら、タッチ補正完了です。

※失敗した場合は「タッチ補正に失敗しました。再度、画面の中の '+' マークを正確に押してください。」と表示され、やり直しになります。

システム [フォーマット & 初期化 ・ 日時 ・ システム設定]



② フォーマット&初期化

フォーマットまたは、初期化をするときにタッチしてください。
microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。

【フォーマットする】

1. フォーマットをタッチしてください。
2. フォーマット画面が表示されたら OK をタッチしてフォーマットしてください。キャンセルをタッチするとフォーマットを中止します。



【初期化する】

! 初期化は、設定内容の初期化および microSD カードをフォーマットします。

1. 初期化をタッチしてください。
2. 初期化画面が表示されたら OK をタッチして初期化してください。
キャンセルをタッチすると初期化を中止します。

! 注意 フォーマットおよび初期化を実行すると microSD カードの記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

! 注意 初期化するとフォーマットの実行および設定内容が工場出荷時の初期値に戻ります。



③ 日時 日付設定と時計設定が可能です。 (GPS を接続すれば日時は自動取得されるので設定不要です。)

日付設定または時計設定を選択して、変更したい表示をタッチして＋で調整してください。



④ システム情報

システム情報をタッチすると、モデル名、バージョン、時間、GPS 接続 G センサー、音声録音、電圧、温度など情報が表示されます。

再生モード 録画した映像を液晶画面に再生します。

画面をタッチしてメニューモードを表示する

再生モードをタッチ



1. 再生モードが表示されるので常時録画、衝撃録画、駐車録画の再生したい項目をタッチします。



2. それぞれ日付、時間がファイル名になっているので再生したいファイル名をタッチして再生します。「前へ」、「次へ」をタッチすると前後のファイルが表示されます。

2017..... yyyy(年)
1031 mm(月)dd(日)
093226..... h:mm:ss(時:分:秒)



3. 再生画面中、画面をタッチするとカメラ切り替え、一時停止、停止などができます。



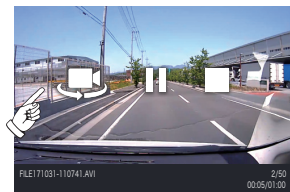
本体カメラとサブカメラの切り替え
※サブカメラ未接続時は、使用しません。



一時停止/再生



停止



手動録画

画面をタッチしてメニューモードを表示する

手動録画をタッチ



手動録画ボタンをタッチすると衝撃録画のフォルダ（Event フォルダ）に保存されます。（タッチしたときの前5秒 / 後15秒）

ファイル名の例) E M E R 1 7 0 5 1 7 _ 1 6 1 6 3 4 . a v i

2017年5月17日16時16分34秒にEMER(手動録画した)ファイル

システムをアップデートする

ファームウェアのアップデート方法

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報は、当社ホームページをご覧ください。

録画時間の目安 ※駐車モード設定を変更すると自動的に割り当てが変更されます。

microSDカードの録画時間の目安です。（1カメラ2カメラとも録画時間は同じです）

※本機は駐車録画に対応していません。

SD割り当て1（駐車モード設定：「使用しない」または「標準」選択時）
常時80%、衝撃10%、その他15%

microSD	録画時間	
	常時録画	衝撃録画
16GB	1時間40分	10分
32GB	3時間20分	20分
64GB	6時間40分	40分
128GB	13時間20分	80分

SD割り当て2（駐車モード設定：「長時間」選択時）
常時10%、衝撃15%、その他75%

microSD	録画時間	
	常時録画	衝撃録画
16GB	12分	15分
32GB	24分	30分
64GB	48分	60分
128GB	96分	120分

製品仕様

カメラ仕様	本体カメラ		サブカメラ	
	外形寸法 (取付ブラケット含む)	約106(W)×85(H)×30(D)mm	約49(W)×29(H)×32(D)mm	
	記録画角(約)	対角145°/水平112°/垂直60°	対角123°/水平89°/垂直64°	
	撮影素子	100万画素CMOSセンサー	100万画素CMOSセンサー	
	録画画素数	約100万画素 (HD 1280×720)	約100万画素 (HD 1280×720)	
重量	約118 g	約21 g		
フレームレート	30fps	30fps		
録画方式	常時録画 / 衝撃(手動)録画			
常時録画	1ファイル 約1分	映像ファイル形式	AVI	
衝撃録画	1ファイル 約20秒 (前5秒、後15秒)			
安全運転支援(ADAS)	前方衝突警報 / 車線逸脱警報 / 前車進出お知らせ			
駐車モード	非対応			
映像再生方法	本体液晶 / 専用ビューアー(Windows7/8/8.1/10)			
GPS	あり			
Gセンサー	3軸、加速度センサー[センサー感度：3段階]			
記録媒体	microSDカード16GB~128GB対応 (16GB付属)			
本体液晶サイズ	3.5インチ touch LCD	液晶解像度	480×320	
消費電力	最大 3.3W	電源電圧	DC12V/24V	
音声録音	ON/OFF 可能	動作温度範囲	-10°C~+60°C	
音声案内機能	ON/OFF 可能	保存温度範囲	-20°C~+70°C	
スピーカー出力	ON/OFF 可能	電源バックアップ	電源断後約1秒間	

付属品

電源ケーブル(シガーソケットタイプ) / 後方用サブカメラ (接続ケーブル) / GPSモジュール / ノイズフィルターセット×2個 / ケーブルクリップ×5個 / microSDカード(16GB) / SDカードアダプター / 保証書 / 簡易取扱説明書 / 専用ビューアー・取扱説明書データ (microSDカード内収録)

ビューアー説明書

※株式会社ワーテックスの XLDR-ADAS 専用ビューアーソフトを使用しています。

インストールの前に

インストールの前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。

- ・ハードディスクに、使用する microSD カードの容量を超える空きがあること
- ・OS が、Windows 7、8、8.1、10 (32bit/64bit) であること

目次

準備しましょう

ビューアーのインストール方法	3
----------------	---

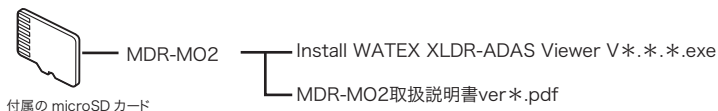
使ってみましょう

基本操作	5
ビューアー画面の見方	6

その他の機能

ドライブレコーダー本体の各種設定変更	7
--------------------	---

専用ビューアーソフトと取扱説明書は、付属のmicroSDカードに保存しています。



付属の microSD カードをフォーマットすると上記のファイルが消去されてしまいます。
あらかじめパソコンなどにバックアップすることをお勧めします。

※ 付属の microSD カードを紛失、フォーマットしてしまった場合は、弊社ホームページより
専用ビューアーソフトと取扱説明書をダウンロードしてください。

ビューアーのインストール方法

付属の microSD カードにビューアーが保存されています。

1 専用ビューアーが格納された付属の microSD カードをパソコンにセットする

* 付属の microSD カードを紛失、フォーマットしてしまった場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。

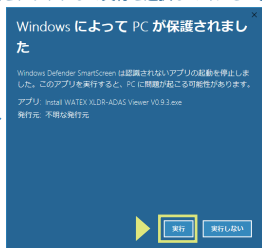
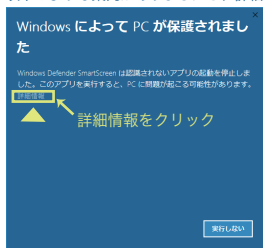
2 microSDカードを開き、インストールプログラムをダブルクリックする

[MDR-MO2]フォルダの中の「Install WATEX XLDR-ADAS Viewer V1.0.0.exe」

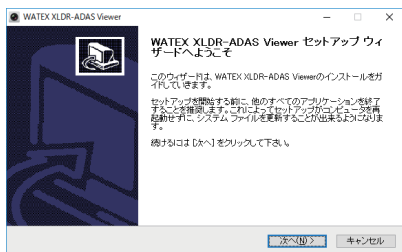


ダブルクリック

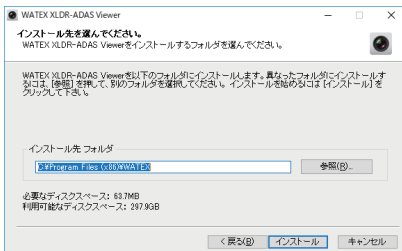
以下のような案内がありましたら、詳細情報をクリックして実行を選択してください。



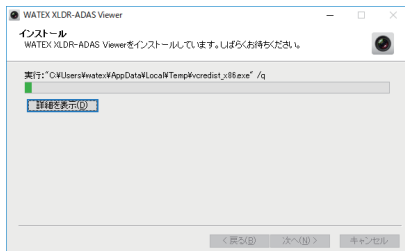
3 セットアップ画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリック



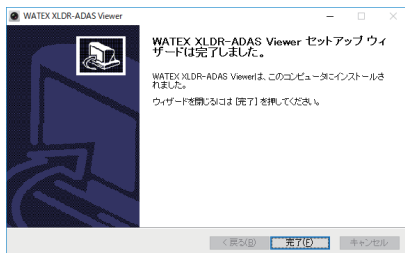
4 インストール先フォルダを確認して [インストール] ボタンをクリック



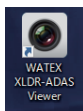
5 インストール画面が表示され インストール開始



6 インストール完了後、 [完了] ボタンをクリック



7 ショートカットがパソコンの デスクトップ上に作成される

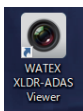


基本操作

ビューアの起動

- 1 インストールした専用のビューアソフト「WATEX XLDR-ADAS Viewer」のアイコンをダブルクリックしてビューアを起動する

ダブルクリック



ドライブレコーダー「XLDR-ADAS」専用ビューアのアイコン



ドライブレコーダーXLDR-ADAS 専用ビューアが起動します。

ファイルの読み込み

ドライブレコーダーで録画したファイルをビューアに読み込みます。あらかじめ録画ファイルが入ったmicroSDカードを用意しておきます。

- 1 録画ファイルの入ったmicroSDカードをパソコンにセットする

- 2 ビューアを起動する

- 3 セットしたmicroSDカードをフォルダ選択画面で選択し、OKボタンをクリック

そのほかの場所に録画ファイルが保存してある場合は、その他のフォルダボタンから保存場所を選択してください。

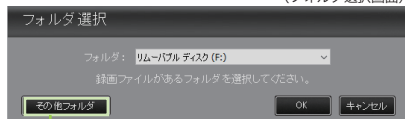
録画ファイルがビューアに読み込まれ、ファイルリストに表示されます。

- 4 ファイルリストから再生するファイルを選んでダブルクリックする。

録画ファイルの再生が開始されます。

ファイルリストは録画の種類ごとに表示することが可能です。常時/イベント/駐車をクリックして選択してください。再びクリックすると選択を解除できます。

(フォルダ選択画面)



(ファイルリスト)

ファイルリスト				
	常時	イベント	駐車	
タイプ	日付	時間	容量	✓
イベント	2017-10-31	12:18:01	50MB	■
イベント	2017-10-31	13:18:23	50MB	■
イベント	2017-10-31	14:07:17	50MB	■
イベント	2017-10-31	14:07:55	50MB	■
イベント	2017-10-31	14:30:20	50MB	■
イベント	2017-11-01	12:39:17	50MB	■
イベント	2017-11-01	13:39:37	50MB	■
イベント	2017-11-01	13:41:25	50MB	■
イベント	2017-11-01	14:19:22	50MB	■
駐車	2017-11-01	14:26:17	50MB	■

ファイルリスト				
	常時	イベント	駐車	
タイプ	日付	時間	容量	✓
常時	2017-11-02	12:12:24	120MB	■
常時	2017-11-02	12:13:24	120MB	■
常時	2017-11-02	12:14:24	120MB	■
常時	2017-11-02	12:15:24	120MB	■

ビューアー画面の見方

ビューアー画面について



① 再生画面1 ② 再生画面2

再生画面1に本体カメラ、再生画面2にサブカメラの映像を表示します。画面を切り替えることもできます。再生画面をダブルクリックすると拡大表示できます。再度、ダブルクリックで元の画面に戻ります。

③ 設定ボタン

ドライブレコーダー本体の設定調整をおこなうための画面を表示します。付属のmicroSDカードが必要です。

④ バックアップボタン

ファイルリストで✓選択した動画を指定した場所へ保存します。

⑤ スナップショットボタン

現在表示中の映像をキャプチャーして、静止画ファイル(JPEG)を指定した場所へ保存します。

⑥ 再生画面1用ボタン



左右反転 上下反転 全画面表示 再生画面1→2
切り替え 切り替え

⑦ 再生画面2用ボタン



左右反転 上下反転

⑧ 言語選択ボタン

⑨ 弊社ホームページリンク

⑩ 専用ビューアーのバージョン情報表示

⑪ ビューアー画面の

最小化ボタン/×終了ボタン

⑫ シークバー

現在の再生位置を表示、変更します。

⑬ 再生操作ボタン



一時停止 停止 1つ前の 1つ後の 0.5秒前 0.5秒後
/再生 ファイル ファイル で停止 で停止

⑭ GPS受信状態/座標値

GPSの接続状態を表示します。(接続時：緑表示)



GPS接続時の緯度・経度が表示されます。

⑮ 速度

GPS接続時の速度が表示されます。

⑯ MAP

GPS接続時、別ウィンドウにGoogleマップを表示し、位置情報が表示されます。

⑰ Gセンサー値

走行時の揺れや衝撃などを3軸センサーのグラフで表示します。

⑱ 音量調整バー

再生音量を調整します。

⑲ 画面調整バー

再生画面の調整

- ・再生速度 遅い⇄早い
- ・明るさ 暗い⇄明るい
- ・コントラスト 低⇄高

⑳ フォルダを開く

再生ファイル一覧が表示されます。再生するフォルダの選択画面を開きます。

㉑ ファイルリスト

ドライブレコーダー本体の各種設定変更

設定ボタン

ドライブレコーダーで使用する microSD カードをパソコンにセットして、ビューアーの設定ボタンをクリックする

下記の設定を行えます。

設定を保存した microSD カードを本体に挿入して電源をオンにすると保存した設定が適用されます。



各項目を選択したあと OK ボタンを押してください。初期化ボタンを押すと工場出荷時の初期値に戻ります。

①録画衝撃感度設定	常時録画衝撃感度	鈍感 / 標準 / 敏感
	駐車録画衝撃感度 ※	鈍感 / 標準 / 敏感
②ADAS設定	前方車発進警報	オフ / オン
	前方車衝突警報	オフ / オン
	車線逸脱警報	オフ / オン
③セキュリティLED	セキュリティLED動作設定	オフ / 点滅 (本体カメラの前面LEDの点滅設定)
④音声設定	音声録音	オフ / オン
	スピーカー音量	オフ / 小さい / 標準 / 大きい
⑤駐車録画設定 ※	駐車モード設定 ※	長時間 ※ / 標準 / 使用しない
	駐車録画時間 ※	1 / 4 / 12 / 24 時間
	放電遮断電圧 ※	11.5(23.0) / 11.7(23.4) / 11.9(23.8) / 12.1(24.2)V
⑥画面設定	画面の明るさ	暗い / 標準 / 明るい
	画面表示設定	1 分後画面オフ / 画面常時オン / 1 分後時計画面
	映像表示設定	本体 (大) サブ (小) / 本体カメラの全体画面 / サブ (大) 本体 (小) / サブカメラの全画面

※本機は駐車録画に対応していません。設定を変更しても駐車録画は行いません。

※駐車モード設定を長時間に設定すると常時録画時間が短くなりますのでご注意ください。


BIGPOWER

株式会社ビッグパワー

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL bigpower.jp

お客様サポートセンター係

 **0120-25-3930**

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30
(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)